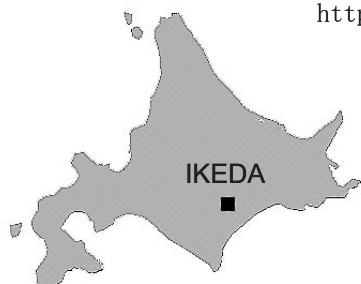


No.42 2009, Apr.

4 月・天地金乃神大祭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

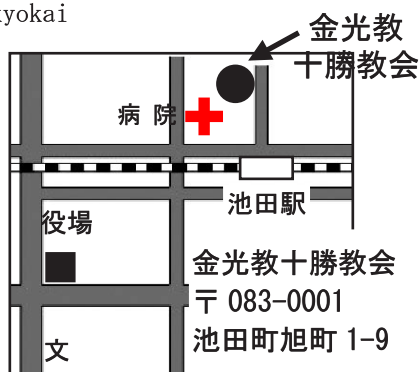


☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 42



- 写真 -

平成 21 年 4 月、御大祭当日の本部広前会堂

立教百五十年 天地金乃神大祭を迎えて

金光教十勝教会

この冬は十勝でも数年ぶりに雪の多い季節を過ごしましたが、それでも春の訪れは早く、境内のチューリップも一斉に芽を出しています。平成二十一年、金光教立

教百五十年の年も春のご大祭の季節を迎えました。

江戸時代末期、安政年間に教祖・金光大神様（赤沢文治）が日々の信仰の中で天地金乃神様（金神）と出会われたのが金光教の始まりです。

同時にそれはそれまでの既成の宗教、神（仏）観とは異なる救済の始まりでもありました。

天地金乃神様は、唯一絶対・全知全能の主として人間の上に君臨するわけでもなく、人間の生前の善悪によって死者の魂のふり分けをすることもありません。ただ教祖様を通じて天地金乃神様が伝えたいことは「人間がおかげを受けないで苦しんでいるようでは、神

の役目が立たない。人間が立ち行かなければ神も立ち行かない（金光大神も）」ということでした。そして、「人を助けるのは人」、「信心しておかげを受け、人を助けて神になれ」と伝えています。

また天地金乃神様は「氏子ありての神、神ありての氏子」という言葉で神と人の関係を伝えておられます。これは神、人いずれの願いもそれぞれが協力し合ってはじめて成就するということを教えています。

○ 天地金乃神様はあくまでも人の助かりを願われていますが、人を助ける直接の働きは「人でなければできない、とも言われています。その人を助ける心こそが「神様の働き」、すなわち「神心」しんじん」ともいわ

れるものなのです。

天地金乃神様は「人を助けたい」という願いをもって常に私たちの心に働きかけているはずで、「信心しておかげを受けて」とあるのは、その神様の働きかけに気付くことです。私たちは、普段の生活の中ではなかなか神様のおっしゃる「おかげ」に気付くことはありません。

○ そこで、教祖金光大神様はご自身のお広前で参拝された方に対して「おかげとは何なのか？」ということをお話されたのです。その話を聞いて納得し、神様の願いや天地（自然）、人間の働きと間柄に気付いた人々が、おかげをいただき、この道を広め、そこでまた人々を助けてきたたのです。それが金光教は「祈念祈祷で助かるのではな

く、話で助かる」と言われたところでは。

○ 立教百五十年という節年にあたり、私たち信奉者一人ひとりが教祖様の遺された信心をもう一度見つめ直し、天地金乃神様の願い、私たちへの働きかけに気付かせてもらうよう改めて春の天地金乃神大祭を迎えさせて頂きたいと思ひます。

道東地区・関係教会大祭日程

釧路教会	5 月 24 日 (日)	11 時
北見教会	5 月 3 日 (日)	11 時
帯広教会	4 月 26 日 (日)	11 時
網走教会	5 月 17 日 (日)	11 時
滝上教会	5 月 10 日 (日)	11 時
夕張教会	4 月 29 日 (水)	11 時
函館教会	5 月 13 日 (水)	13 時

教会 日 誌

2月11日 信徒総会。

平成21年2月11日から



2月11日、恒例の信徒総会が開催されました。信徒会長の挨拶（右）



総会行事の後は新年会が開かれました。信徒総代の挨拶で乾杯（右）



鍋料理をいただいて、ビンゴゲームなどを楽しみました。



2月11日

函館教会・矢代礼紀先生を偲ぶ会、
会長夫妻出席。

2月14日

余市町、I家、感謝祭例年霊祭。

2月21日

幕別町、K家、感謝祭例年霊祭。

3月14日

札幌市、K家、式年霊祭。

3月18日

帯広市、I家、式年霊祭。

3月20日

春季霊祭。

3月21日

帯広市、W家、式年霊祭。

3月22日

道東地区教会連合会総会、釧路教会。
衛先生、信徒会長、副会長出席。

3月25日

吉備舞練習会、札幌東教会。みよ子先
生、玉置るみさん参加。

3月26日

北海道教区教会女性の会、定山溪温泉、
27日まで。

4月1日

勸学祭。

4月5日

薫別講社天地金乃神大祭。



写真（左・上下） - 勸学祭 -
今年も多くの青少年が新たな春を迎えました。



写真（右・上下） - 春季霊祭 -
祭典の後は、霊祭恒例のぼた餅でお直会

4 月 10 日 本部天地金乃神大祭、衛先生参拝。
4 月 12 日 大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。



写真 - 大祭前の大掃除 -

春の掃除では、お広前の掃除だけではなく、境内の花木の冬囲いを外したり、排水溝の雪割り作業もあります。掃除の後はみんなで昼食をいただいて、打ち合わせです。

先 祭員着席

次 拜 礼

次 神前拝詞奉唱

次 取次唱詞奉唱

次 祭主祭詞奏上

次 祭主玉串奉奠

次 天地書附奉体

次 参拝者代表玉串奉奠

次 神徳賛詞奉唱

次 立教一五〇年御礼祈願詞奉唱

次 神人の栄光斉唱

次 拜 礼

次 祭員退下

○ 吉備舞奉納「水は器」

○ 舞人 玉置るみさん

○ 御神伝奉読・講師紹介

○ 講話

講師 金光教帯広教会

田中敬一先生

一、天地は神のふところ

人はみな神のいとし子

かぎりなき神徳のなかに

生かさるるわれ等うれしき

二、人の世にとわの光を

いとし子につきぬみかげを

誓わしし教祖の神に

救わるるわれ等うれしき

♪ 神 人 の 栄 光 ♪

願

い

わが心の神に目ざめ

祈り、対話、行動をもって

神を現す生活をすすめ

共に助かる世界を生みだそう

あいよかけよの生活運動

食 前 訓

食物はみな人の命のために

天地乃神のつくり

与え給うものぞ

何を食うにも飲むにも

ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え

体をつくれ

何事も体が元なり



KONKORYO
金光教